日置市立土橋中学校　学校だより　７月号　↓ブログ　↓HP

きずな 絆

校訓　勉学・礼節・剛健　令和８年７月14日(火)発行

日置市伊集院町土橋 1350
TEL 099－273－9230

「自分で決める」夏にするために

校長　松下　　和



サッカーワールドカップでの日本代表の熱戦が日本中を沸かせてくれました。世界の強豪を相手に、確固たる戦術と泥臭いまでのチーム力で挑む選手たちの姿は、私たちに大きな感動と諦めない勇気を与えてくれました。目標に向かって何年も前から主体的に準備を重ね、大舞台で持てる力を百パーセント発揮する。そのために彼らがどれほどの汗を流してきたか。これから夏休みを迎える生徒たちにとっても、これ以上ない生きた教材であり、最高の刺激となっているのではないでしょうか。

さて、本校でも45日間に及ぶ夏休みがいよいよ間近に迫ってきました。この長期休業は、学校の「与えられた枠組み」から離れ、自らの意思で時間をコントロールする貴重な「自立の練習期間」です。しかし、誰もが最初は立派な計画を立てるものの、自由な時間の多さに圧倒され、気づけば実行できずに終わってしまうことも少なくありません。ワールドカップの日本代表が、試合中のわずか45分間のハーフタイムで課題を見つけ、後半に向けて戦術を修正していくように、充実した夏休みの計画を前に進めるため、ぜひ心がけていただきたい二つのポイントがあります。

一、「いつも通り」という防衛線を持つ



計画を途中で挫折させない最大のコツは、生活リズムという土台を崩さないことです。夏休み中も「睡眠・食事・挨拶」の三つを、学校があるときと同じ「いつも通り」に保つよう心がけてみてください。例えば**「朝〇時までに起きて朝食を食べる」**という防衛線が一つしっかり守られていれば、一日の生活の軸がブレることはありません。この「いつも通り」を維持できる自己管理能力こそが、計画を実行に移すためのエンジンとなります。**自分で生活をコントロールする心地よさと自信**を、ぜひこの機会に体感してほしいと思います。

二、「小さな失敗」からリカバーする経験を積む



計画通りに進まない日があるのは当然のことであり、決して悪いことではありません。本当に大切なのは、そこで諦めるのではなく**「遅れた分をどう取り戻すか」**を**自分で考え、翌日からの行動を修正する**ことです。保護者にとって、子どもたちがダラダラしている姿を見ると、つい先回りして注意したくなることと存じます。しかし、そこを少しだけ堪え、子どもが自分でリカバーする様子を「信じて待つ」姿勢で見守っていただければ幸いです。失敗から工夫して立ち直るリカバーの経験こそが、子どもたちを大人へと成長させる大きな一歩となります。

学校を一歩出れば、生徒たちは地域社会の一員です。今年の夏休みには、大きな、そして楽しみな挑戦が待っています。８月16日(日)に開催される地域の夏祭りにおいて、昨年度に引き続き、本校の中学生たちが全体の進行役にチャレンジすることになりました。地域の一大イベントを自分たちの手で動かすという経験は、まさに「誰かを笑顔にする」ための最高の舞台です。本番に向けた準備の段階から、主体性を発揮し、仲間と力を合わせてやり遂げてくれることを期待しています。学校とご家庭が固いスクラムを組み、一つのチームとして子どもたちの主体的で粘り強い挑戦を温かく応援していきましょう。





【上級学校説明会】





６月19日（金）、上級学校説明会を開催しました。当日は12校の高校の先生方をお招きし、各校の特色や魅力を分かりやすく紹介していただきました。説明を聴く生徒たちは一言も聞き漏らすまいと真剣そのもので、その立派な態度には高校の先生方からも「聞く姿勢が大変素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。自らの未来を見据え、主体的に学ぼうとする姿を大変誇らしく思います。また、お忙しい中ご出席いただいた多くの保護者の皆様にも、心より感謝申し上げます。進路選択を控える３年生はもちろん、１・２年生にとっても、将来の夢を描き、社会へ羽ばたく「自立」の基盤をつくる貴重な機会となりました。生徒たちには、今回得た刺激を日々の学習意欲へと繋げ、自らの志す道を一歩ずつ切り拓いていってほしいと願っています。

参加校
伊集院高校　串木野高校　市来農芸高校
武岡台高校　松陽高校
鹿児島南高校　鹿児島中央高校
鹿児島城西高校　　神村学園高等部
鹿児島実業高校　樟南高校　鹿児島高校

【私の主張】



６月30日（火）の生徒集会では、３人の生徒が「私の主張」を発表しました。部活動を３年間やり抜き、技術だけでなく一生ものの絆と強い心を育てて成長したこと、また学習面で苦手教科の壁を自分の力で克服したエピソードなど、どれも素晴らしい内容でした。自らの経験や想いを人前で堂々と話す経験は、本人をさらに大きく成長させます。全校生徒にとっても、互いに刺激を受け合う大変貴重な機会となりました。これからも多くの学びを通して、一人ひとりが自分らしく輝いてほしいと願っています。

【職場見学（１年）】





７月２日（木）、１年生４人が「太洋花火」「美山農園」「セイカ食品」の三事業所を訪問し、職場見学を行いました。生徒たちは、ものづくりの裏側や働く現場の熱気を間近で体感しました。感想では「大勢の職人さんの協力がすごかった」「初めて鶏に触れた」「アイスの製造過程が見られ、試食もおいしかった」など、多くの発見や感動が綴られていました。地域の産業を支える大人たちの姿から、「仕事」の素晴らしさを肌で感じ、深く主体的に学ぶ貴重な一日となったようです。少人数だからこそ、一人ひとりが五感を通して多くの刺激を吸収し、将来の自立に向けたキャリアの視点を養う格好の機会となりました。お忙しい中、生徒たちを温かく迎え、丁寧にご指導くださいました各事業所の皆様に、心より感謝申し上げます。今回の学びを、これからの探究活動や日々の成長に繋げてまいります。



【七夕に願いを】



今年も七夕の季節がやってきました。校内には笹飾りが登場し、生徒や職員が思い思いの願いをカラフルな短冊に書き込んでいます。進路や学習の目標、家族の健康、日々のささやかな幸せなど、並んだ短冊からは一人ひとりの素直な思いや、誰かを気遣う優しい心がじんわりと伝わってきます。みんなの願いを見つめていると、自然と応援したい気持ちで胸がいっぱいになります。みんなの素敵な願いごとが天まで届き、たくさんの笑顔が花開くことを心から祈っています。

【学校訪問】





６月23日（火）、市教育委員会の学校訪問がありました。当日は、本校の教育活動や生徒たちの姿に対し、多くの温かい賛辞をいただきました。特に、隅々まで清掃された美しい環境や一人ひとりを大切にする掲示物、生徒に寄り添う教職員の共感的な指導体制が絶賛されました。互いの強みを認める「いいとこ探し」の実践が生む安心感の中、明るく前向きに授業に臨む生徒たちの姿は、委員の皆様の心を強く捉えたようです。また、地域と一体となった協働体制や、生徒が自ら動く主体的な活動、高校進学後の「自立」を見据えた熱意ある関わりについても、大変高い評価をいただきました。今回の訪問で得たエールを大きな励みとし、今後も生徒の「なぜだろう」と考える力を一層伸ばす授業づくりに挑戦してまいります。これからも、地域と共に、学校全体がさらに「誰もが笑顔になれる場所」となるよう歩みを進めてまいります。

日	曜	８月行事等
3	月	出校日
11	火	祝山の日　リフレッシュウィーク（～17日）
12	水	学校閉庁日（～14日）
16	日	第35回土橋校区夏祭り花火大会
21	金	出校日
23	日	ＰＴＡ校区合同愛校作業(7:00～8:00)予備日30日
9/1	月	始業式

※出校日は8:30までに登校　生徒下校時刻は10:50（予定）
※ブログやホームページで学校の様子を発信しています。感想やご意見をお聞かせください。